

# 未来共創

～社会と共生する  
大学を目指して～



写真提供:写真工房ピクセル・グラフィックス

## 第1回 9月30日(金)

人を結ぶコミュニケーション  
—現代社会における円滑な対人関係のスキル—

学長 大坊 郁夫

## 第2回 10月7日(金)

フェアトレードが目指す共生・共創社会

経済学部 教授 萱野 智篤

## 第3回 10月14日(金)

世界で通じる人間力とは  
—異文化コミュニケーション教育の視点から—

文学部 教授 長谷川 典子

## 第4回 10月21日(金)

地域社会のニーズと協働

社会福祉学部 教授 岡田 直人

## 第5回 10月28日(金)

障害児者ケアの社会化  
—ケアを担うのは「誰・どこ」であるべきか—

社会福祉学部 教授 田中 耕一郎

## 第6回 11月4日(金)

共に生きる知恵と行動  
—高齢者や患者とのコミュニケーション—

文学部 教授 大島 寿美子

## 第7回 11月11日(金)

人口減少社会の中での共生

経済学部 教授 板谷 淳一

※開催時間は全7回とも18:20～19:30

会場 北星学園大学／北星学園大学短期大学部  
札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号

大学構内での対面開催を予定しておりますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンライン配信に変更となる場合があります。

参加費 2,000円(全7回セット)※申込締切日までにお振込みください。

問合せ先 北星学園大学 社会連携課 大学公開講座 係  
TEL 011-891-2731 [9:00～11:30/12:30～17:00(土日祝除く)]  
E-mail renkei@hokusei.ac.jp  
北星学園大学ホームページ申込みフォームよりお申込みください。



申込みフォーム  
QRコード



北星学園大学は開学60周年を迎えました。

開学60周年記念  
特設サイト→



主催



Hokusei Gakuen University  
北星学園大学  
北星学園大学短期大学部

後援 札幌市教育委員会

# 北星学園大学 開学 60 周年記念公開講座

Extension Lecture at Hokusei Gakuen University 60th Anniversary

## テーマ：未来共創 ～社会と共生する大学を目指して～

～ Partners in Inclusive Goals: Universities and Societies Working Together ～

今年、北星学園大学は開学 60 周年を迎えました。今回の公開講座は「開学 60 周年記念公開講座」とし、北星学園大学の歴史と伝統を振り返りつつ、未来への一步を踏み出す講座内容を企画しました。社会との共生を根幹とした上で、大学は何をめざし、他者や地域と何を協働、共創していくことができるのかを考え、みなさまと一緒に「未来共創」を探る機会としていきたいと思ひます。

日程	講義題目	講義概要	講師(専門分野)
第 1 回 9月30日(金)	人を結ぶコミュニケーション ー現代社会における円滑な対人関係のスキルー	日頃、多様な人々とのコミュニケーションを通じて、人はよりよく生きたい(well-being)と行動しています。そのため必要なコミュニケーションのルールや適応的なスキルをどのように捉え、会得するのについて一緒に考えましょう。	学長 大坊 郁夫 (対人社会心理学)
第 2 回 10月7日(金)	フェアトレードが目指す共生・共創社会	札幌市のフェアトレードタウン認定、本学と札幌学院大学のフェアトレード大学認定と、フェアトレードは私たちに身近なものになりつつあります。では、フェアトレードは、グローバル化の中で広がる格差、限度を超えた環境破壊に対して、どのような「もう一つの」未来を目指しているのでしょうか?具体的事例から考えます。	経済学部 教授 萱野 智篤 (政治学)
第 3 回 10月14日(金)	世界で通じる人間力とは ー異文化コミュニケーション教育の視点からー	難民、移民、留学など国境を越えた移動が増え続ける今日、文化的背景の異なる人との共生が世界中で必至の課題となっています。当講座では、様々な文化的背景の差異を超えて人々が平和的に共生する方法を探究する「異文化コミュニケーション学」の知見をもとに、世界で通じる「人間力」の獲得には何が必要か考えたいと思ひます。	文学部 教授 長谷川 典子 (異文化コミュニケーション論)
第 4 回 10月21日(金)	地域社会のニーズと協働	地域福祉の領域では、地域共生社会の実現に向けて、各種事業が実施されています。北海道は人口減少・少子高齢化で全国に先駆け地域社会崩壊の危険性が高まっています。そのようなニーズに対して、地場産業を育て、定住者を増やすために、今の地域社会の関係者がどのように協働すべきか、少し妄想も含めて提案いたします。	社会福祉学部 教授 岡田 直人 (地域福祉)
第 5 回 10月28日(金)	障害児者ケアの社会化 ーケアを担うのは「誰・どこ」であるべきかー	これまで障害児者のご家族たち、障害当事者、障害児者支援の専門職たちは、「誰・どこが障害児者のケアを担うべきか」という問いについて多くの議論を重ねてきました。本講では、この積み重ねられてきた議論と、そこで育まれてきた豊かな思想を確認しながら、障害児者ケアの「社会化」の意味について考えたいと思ひます。	社会福祉学部 教授 田中 耕一郎 (障害者福祉論)
第 6 回 11月4日(金)	共に生きる知恵と行動 ー高齢者や患者とのコミュニケーションー	認知症ケアで知られるフランス発の「ユマニチュード」、がん患者の語り手による「病いの語り」を例に、ケアや支援におけるコミュニケーションの変容を目指す研究や実践について紹介し、高齢者や患者の持つ力をケアや社会に活かす意義を考えます。	文学部 教授 大島 寿美子 (医療コミュニケーション論)
第 7 回 11月11日(金)	人口減少社会の中での共生	人口減少問題は現在の日本が直面している最も喫緊な経済・社会的課題であることに異論はないと思ひます。人口減少の原因は出生率の低下によるもので、この現象は、結婚、出産、育児、就職、居住、家族、教育といった様々なライフイベントの結果として生じています。したがって、人口減少を止めるためには若年世代に対する生活全般にわたる政策対応が必要になります。現在および将来実施されるであろう政策の紹介と、どのような政策を今後模索すべきかを一緒に考えたいと思ひます。	経済学部 教授 板谷 淳一 (財政学)

- 開催時間 18時20分～19時30分まで
- 会場 北星学園大学内(対面開催の予定) 詳細は受講証にてお知らせいたします。  
\*新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンライン配信に変更となる場合があります。
- 定員 150名(定員に達し次第締め切ります)
- 受講対象 18歳以上で、期間中オンライン配信に変更した場合も受講可能な方(以下、①②をご確認ください)  
①オンライン配信を受講する場合、インターネット通信環境が整った場所と視聴のための、パソコン又はタブレット、スマートフォンが必要となります。  
②オンライン配信にあたって、機器操作の不具合に関するご質問や技術的なサポートは致しかねますので、ご了承ください。
- 受講料 一般 2,000円、本学在学学生 1,000円(全7回セット) \*本学在学学生は、申込時に学籍番号をお知らせください。
- 申込方法 本学ホームページの「大学公開講座」申込フォームよりお申し込みください。  
\*お申込み後に、受付完了の自動返信メールが届きます。届かない場合は、社会連携課までご連絡ください。
- 受講料振込方法 必ず受講される方の名義でお振込みください。恐れ入りますが、振込手数料はご負担願ひます。  
金融機関の収納印をもって領収書に代えますので、振込金受取書は講座終了まで大切に保管してください。  
振込先:北洋銀行 大谷地支店 普通預金 0073916 ガク)ホクセイガクエン 学校法人 北星学園  
\*お申込みとご入金両方が確認できた時点で申込完了となります。忘れずに両方の手続きをお願いします。
- 申込締切日 2022年9月12日(月)(受講料の振込みも同日までをお願いします)
- 受講証 お申込みとご入金両方が確認できた方には、9月20日以降に「受講証」を発送しますので、講座当日忘れずにお持ちください。お持ちでない場合は受講をお断りすることがございますので、あらかじめご了承ください。  
9月26日(月)までに受講証が到着しない場合は、お手数ですが社会連携課にお問い合わせください。
- その他 本学敷地内には十分な駐車スペースがございませんので、公共交通機関のご利用をお願いします。  
新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンライン配信に変更となる場合があります。その際は申込時にご登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。  
感染防止対策として換気をする場合がありますので、寒暖調整ができる服装でお越しください。講座当日体調がすぐれない方は無理せずご欠席ください。



申込みフォーム  
QRコード